

平成 22 年度 事業報告書

自 平成 22 年 4 月 1 日
至 平成 23 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 地球学校

I. 総括

当期の決算はNPO法人としての目安の一つである収入が 500 万円の壁を超えることができず、昨年度を下回りました。会費、寄付金の収入は変動なく、地球っ子教室への助成金（委託金を含む）については好調でしたが、日本語教室の事業収入は減少という結果でした。これらの状況について以下に述べます。

日本語教室では、大震災の影響のみならず、登録学習者数は前年度とあまり変化が無かったもののレッスン数の減少が収入に響きました。これは企業、団体の出張レッスンの減少に加え、不況を脱しつつある企業側の事情により、プライベートレッスンの学習者の残業や出張が増えたことも一因です。学習者の都合に合わせる地球学校のレッスンは、気軽にレッスン日変更をできる点が支持を得ている大きな理由でもあります。昨年度はそのような特徴が浮き彫りになった年でもありました。学習者本意という姿勢は踏襲しつつ、今後は別の視点から収入面を検討することが急務と考えます。

地球っ子教室では、引き続き助成を 3 件いただきました。中でも文化庁からは助成ではなく、初めて委託を受けました。おかげで、担当教師に謝金を支払うことができました。そのうえ、外部の有識者を招いての運営委員会の開催は内部研修の実施にもつながりました。また、助成二年目となる<パルシステム神奈川ゆめコープ>からは、数ある助成団体の中から特別賞をいただき、私たちの活動が認められたのだと自信がつけました。そして、今年 3 年目となる<よこはま夢ファンド>からも引き続き木曜教室への助成を得、10 人の受験生も全員無事に高校へ進学できました。

多文化交流の開催数は全 4 回で、昨年より 7 回より減少しましたが、中には学習者が参加してくれたイベントもあったのは喜ばしいことでした。交流という視点から考えると、日本語教室ではDVD製作のためのインタビューや写真撮影をお願いしたことは学習者との結びつきを深める機会になりました。また、地球っ子教室でも、大学生主催の社会科見学、子どもたちの夢や作文を書いてもらったことなどを通して、今までにはなかった交流ができたように思います。真の意味での多文化交流です。

広報においては、10 周年記念企画であるDVD製作を進める中で、完成版はHP上にアップするCMを製作することに発展しました。地球っ子教室で昨年度助成を受けた<神奈川子ども未来ファンド>よりCM製作の企画への参加のお話をいただいたことがきっかけです。撮りためた映像は、次年度積極的に活用する予定です。

以上のように、10 周年を迎えた一年間の活動は非常に充実していました。収入面では減少という結果でしたが、得るものは昨年以上に大きかった一年だったといえます。

II. 事業の成果

日本語教室では、残念ながら新規学習者数が減少し、プライベートはじめ出張レッスン、クラスも小規模な展開となりましたが、教師たちの内部勉強会ならびに外部研修への参加は積極的に行われました。勉強会では特に2010年スタートの「新日本語能力試験」N1・N2の読解問題の分析、作成、指導法に取り組みました。3月の東日本大震災では、地震当日の学習者との避難、その後も日本に残る学習者たちへの早期レッスン再開など、学習者との信頼関係を大切にしてきた地球学校の役割を再認識する機会となりました。

地球っ子教室は、土曜教室37回、木曜教室37回、夏・春教室7日間を予定しましたが、震災の影響で土曜教室1回と春休み教室を中止し、代わりに「卒業生を送る会」を春休みに行いました。また、青山学院大学ローターアクトクラブとの共催で「社会科見学」を年間2回企画しましたが、5月の「横浜市民防災センター」見学のみ行い、3月は延期となりました。今年度は子どもたちの申込みが大変多く、70名を上回りました。また、今年度から外部有識者を招いて「運営委員会」を発足させました。

多文化交流では、今年度も会員同士の交流の推進をはかる各種のイベントを計5回実施しました。また、10周年記念企画であるDVD製作へのインタビューや写真の依頼に、多数の学習者、子どもたちが快く協力してくれました。

III 事業内容

1. 日本語教室に関する事業

- ・ 内容 日本語の上達を希望する学習者への日本語指導、日本語学習支援
- ・ 日時 通年 687回
- ・ 場所 かながわ県民活動サポートセンター フリースペース、教室
企業・介護老人保健施設の会議室
- ・ 従事者人員 日本語教師資格を有する正会員 18名
- ・ 受益対象者 日本語学習を希望する母語が日本語ではない学習者 62名
- ・ 支出額 2,177,170円

2. 地球っ子教室に関する事業（外国人児童生徒への支援）

- ・ 内容 外国人児童生徒への日本語指導、教科の学習支援
- ・ 日時 通年 78回
- ・ 場所 かながわ県民活動サポートセンター 教室
- ・ 従事者人員 会員、サポーター（一般・大学生・高校生） 29名
- ・ 受益対象者 外国人児童・生徒 78名
- ・ 支出額 1,377,859円

3. 多文化交流に関する事業

- ・ 内容 会員の交流、学習者との交流、外部も対象にしたイベント
- ・ 日時 通年 全5回
- ・ 場所 かながわ県民活動サポートセンター 教室、外部の開催場所
- ・ 従事者人員 担当スタッフ 2名
- ・ 受益対象者 会員、各教室の学習者・子どもたち、外部者 約70名
- ・ 支出額 0円